



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7224 URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	48,869	5.9	2,198	65.6	2,125	39.5	1,203	△23.4
2019年3月期第1四半期	46,132	4.2	1,327	△43.9	1,524	△36.9	1,572	△3.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 993百万円(15.4%) 2019年3月期第1四半期 861百万円(△57.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.46	—
2019年3月期第1四半期	16.47	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	198,108	82,276	41.2
2019年3月期	209,195	83,043	39.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 81,673百万円 2019年3月期 82,340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	27.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	66.00	—	21.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当21円00銭 創立70周年及び創業100周年記念配当45円00銭

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	5.8	11,000	2.7	10,500	0.6	6,300	△10.0	96.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	96,391,800株	2019年3月期	96,391,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	31,203,540株	2019年3月期	31,203,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	65,188,303株	2019年3月期1Q	95,464,487株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境、所得水準の改善等を背景に、緩やかな景気回復が続く一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画の活動2年目を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、事業環境が堅調に推移したことなどから、受注高は54,386百万円(前年同期比4.3%増)、売上高は48,869百万円(同5.9%増)となりました。

損益面では、営業利益は2,198百万円(同65.6%増)、経常利益は2,125百万円(同39.5%増)となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などの特別利益を計上した前年同期と比べて減少し、1,203百万円(同23.4%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

#### (航空機)

防衛省向けは、機体部品の受注が減少したことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。

また、民需関連は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は2,246百万円(前年同期比52.8%減)、売上高は9,001百万円(同8.6%減)となり、営業利益は792百万円(同157.6%増)となりました。

#### (特装車)

車体等の製造販売は、国内需要が引き続き好調に推移した結果、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

この結果、当セグメントの受注高は29,218百万円(前年同期比3.5%増)、売上高は21,615百万円(同1.3%増)となり、営業利益は1,620百万円(同2.9%増)となりました。

#### (産機・環境システム)

流体製品は、機器、システムともに需要が底堅く、サービス事業も堅調に推移した結果、受注、売上いずれも増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機の受注が減少したものの、真空製品は前期に実施したM&A効果により受注及び売上が増加し、分野全体では受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注は減少したものの、新設案件の工事が進捗したことなどから、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は9,782百万円(前年同期比11.7%増)、売上高は6,790百万円(同27.6%増)となりましたが、営業損益は453百万円の損失となりました。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、大型のマンションやホテルなどの建設需要が堅調に推移した結果、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は9,955百万円(前年同期比11.5%増)、売上高は8,082百万円(同12.1%増)となり、営業利益は720百万円(同132.9%増)となりました。

(その他)

建設事業において、受注、売上ともに増加した結果、当セグメントの受注高は3,817百万円(前年同期比81.5%増)、売上高は3,867百万円(同18.3%増)となり、営業利益は146百万円(同10.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて11,087百万円減少し198,108百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて10,320百万円減少し115,831百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べて766百万円減少し82,276百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.4%から41.2%に上昇いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,153	22,758
受取手形及び売掛金	64,300	50,625
電子記録債権	16,654	15,641
商品及び製品	3,766	3,729
仕掛品	18,468	22,418
原材料及び貯蔵品	16,938	18,163
その他	5,459	4,296
貸倒引当金	△58	△59
流動資産合計	148,683	137,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,635	14,345
その他(純額)	20,230	21,404
有形固定資産合計	34,865	35,749
無形固定資産		
無形固定資産	2,768	2,639
投資その他の資産		
その他	22,915	22,182
貸倒引当金	△38	△37
投資その他の資産合計	22,877	22,144
固定資産合計	60,511	60,534
資産合計	209,195	198,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,371	25,666
短期借入金	49,051	44,391
1年内返済予定の長期借入金	238	175
未払法人税等	2,423	278
製品保証引当金	7	6
工事損失引当金	4,748	4,264
その他	24,981	25,655
流動負債合計	110,822	100,439
固定負債		
長期借入金	603	595
退職給付に係る負債	12,594	12,689
その他	2,132	2,107
固定負債合計	15,330	15,392
負債合計	126,152	115,831
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	94,992	94,435
自己株式	△44,597	△44,598
株主資本合計	82,113	81,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,951	1,755
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	259	283
退職給付に係る調整累計額	△1,607	△1,546
その他の包括利益累計額合計	226	116
非支配株主持分	702	602
純資産合計	83,043	82,276
負債純資産合計	209,195	198,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	46,132	48,869
売上原価	39,547	41,399
売上総利益	6,584	7,469
販売費及び一般管理費	5,257	5,270
営業利益	1,327	2,198
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	96	95
持分法による投資利益	0	—
為替差益	118	—
その他	35	85
営業外収益合計	254	185
営業外費用		
支払利息	2	72
持分法による投資損失	—	31
為替差損	—	54
休止固定資産費用	5	7
債権流動化費用	36	74
その他	12	19
営業外費用合計	57	258
経常利益	1,524	2,125
特別利益		
投資有価証券売却益	695	—
退職給付制度移行益	278	—
特別利益合計	974	—
特別損失		
固定資産売却損	—	15
固定資産処分損	147	248
特別損失合計	147	264
税金等調整前四半期純利益	2,350	1,861
法人税、住民税及び事業税	289	304
法人税等調整額	474	448
法人税等合計	763	752
四半期純利益	1,587	1,108
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△95
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,572	1,203

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,587	1,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659	△195
為替換算調整勘定	△125	△0
退職給付に係る調整額	81	61
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	19
その他の包括利益合計	△726	△114
四半期包括利益	861	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847	1,093
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,847	21,334	5,320	7,188	43,691	2,441	46,132	—	46,132
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	2	21	25	829	854	△854	—
計	9,847	21,335	5,322	7,210	43,716	3,270	46,987	△854	46,132
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	307	1,574	△399	309	1,791	132	1,924	△596	1,327

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△596百万円には、セグメント間取引消去△16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△579百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,001	21,613	6,787	8,079	45,482	3,386	48,869	—	48,869
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	2	2	6	480	487	△487	—
計	9,001	21,615	6,790	8,082	45,488	3,867	49,356	△487	48,869
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	792	1,620	△453	720	2,679	146	2,825	△627	2,198

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△627百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。